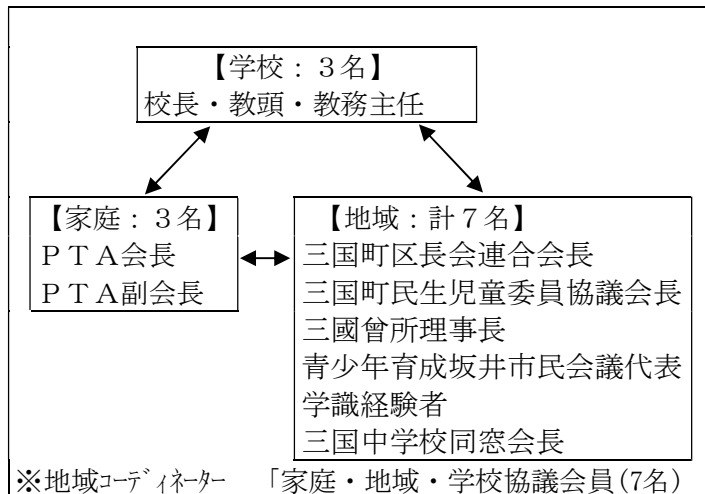


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

坂井市立三国中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

【開催日程・協議内容】

- 第1回 5月17日(金)
 - ・スクールプランの説明
 - ・年間行事計画の説明
 - ・校内参観
- 第2回 10月16日(水)
 - ・活動内容の取り組み説明
 - ・学校評価の説明
 - ・部活動参観
- 第3回 1月23日(木)
 - ・学校評価総合シートについて
 - ・保護者アンケートについて
 - ・次年度への要望等

(3) 協議会における成果と課題

学校評価におけるアンケート結果について、学校だけでなく家庭にも協力を依頼して教育活動を進めていくことの大切さについて協議した。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

生徒が地域の課題を改善する体験学習を自ら考え工夫しながら実施することを通して、ふるさとを知り、ふるさとへの誇りや愛着をもち、将来地元へ貢献したいと思う意欲を育てる。ふるさと教育およびキャリア教育の一環とする。

(2) 活動の実際

①修学旅行でのPR活動(3年生)

6月6日(木)午前中、上野駅、原宿、台場、品川、スカイツリー周辺、東京タワー周辺で、生徒のアイデアにより作成した名刺や坂井市観光産業課のパンフレットを渡しながら、三国のよさをPRした。生徒は人々から「行ってみたい」という言葉を聞き、満足そうな表情をしていた。



②校外学習(1・2年生)

【1年生】

- ・6月6日(木)に、クラスごとに町内の現地調査(三国の良さ調べ)を行った。訪問先での見学・体験活動を通して、地元三国の良さを再発見した。
- ・10月31日(木)に、各クラス6つの班に分かれて福井市内の現地調査を行った。三国と福井市を比べ、今後の三国をよりよくしていくためにどうしたらよいかを考えた。



(様式3)

- ・1月29日(水)に、地域住民等(11名)を招いて「職業講演会」を行った。講師から職業のやりがいや苦勞、地元へ貢献する大切さ等の話を聞き、進路や生き方について考えた。

【2年生】

- ・10月31日(木)に金沢に行き、「和菓子体験」「金箔貼り体験」等を通して金沢の歴史について学んだ。また、三国の知名度等を調査し、三国と金沢市の魅力を比較し、事後学習として新聞にまとめ校内掲示した。来年度、修学旅行での「ふるさと三国PR活動」につなげるため、3月にPRで使う資料の作成に取りかかる。



③地域の活動とタイアップした活動

- ・三国祭(1・2・3年生)

三国祭保存振興会の依頼を受けて、武者行列、大神輿、にぎわいボランティアに生徒(88名)が参加し、地元住民と協働した活動を行った。また、JRC委員会が主催した境内美化活動(ごみ拾い)に、2日間で128名が参加した。

- ・親子奉仕作業(3年生)

三国花火大会の翌朝(8/12)に、3年生とその保護者が三国サンセットビーチや駐車場を清掃した。約1時間かけて、見物客が残した空き缶やペットボトル、空き瓶等のごみを丁寧に拾った。この日は地元団体も奉仕作業を行っており、地域ぐるみの活動として、ふるさとへの愛着を深めることができた。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・修学旅行や校外学習の協力
- ・職業講演の講師、職場体験の受け入れ先などの紹介
- ・親子奉仕作業などのボランティア活動

(4) 特に工夫した事項

- ・3年生のPR活動や2年生の調査活動では、実行委員会が方法等を話し合い、学級に提案する形で進めた。特に3年生は、PRの名称を『ふるさとセールス部隊「三国おひろめたい」』と名付ける、方言クイズや特産品配付等の案を作り生徒の意見を集約する、名刺に掲載する三国の風景についてアンケートをとって決定するなど、生徒自らが考え工夫しながら実施する活動になるよう配慮した。
- ・地域の活動とタイアップした活動では、地域コーディネーターが窓口となって、三国祭保存振興会等とやりとり・調整して活動を行った。

(5) 成果と課題

ふるさと三国のPR、福井市や金沢市の伝統文化の体験・歴史について学ぶこと、地元で活躍している方による講演を聞くこと等の活動を通して、学校の活動に関わることのできない多様な人々と接したり、やり取りしたりすることにより、三国のよさや今後の課題、地元へ貢献する大切さ等を考えることができた。本校は、上記の活動に加えて、区長会と語る会、赤ちゃん抱っこ体験、職場体験活動等、地元の人々と協働した活動を行っている。今後もこれらの活動を十分に活用して、ふるさと三国に誇りや愛着をもつ生徒を増やしたい。